

SEA TRIAL

# MONACO LADY

*PARKER MONACO 110*



サウサンプトンのヨットデザイナーTony Castroがデザインする「PARKER Monaco 110 (パーカー モナコ110)」。それは、38フィートクラスのアウトボード艇で、30ノット以上のスピードを誇る走行性能を持ち、しかもクラス最大の広く明るいキャビンと充実したアコモデーションを持つ最強のファミリークルーザー。日本に初上陸を果たしたPARKER Monaco 110の魅力が解き明かされる。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada  
special thanks: OKAZAKIYACHTS <https://okazaki.yachts.co.jp>





## ヨーロッパでますます存在感を高める PARKER の新たなフラッグシップ「Monaco 110」 Tony Castro の優れたデザイン、RIB で鍛えられたハルに 600HP のパワーで 淑女が海を舞う

近年、北米やヨーロッパで開催される世界的なボートショーで旋風を巻き起こし、世界的なアワードを席巻するポーランドボート。西ヨーロッパの世界的なボートビルダーが設計する小型プロダクションラインをポーランドで建造してきた歴史。高度な技術指導や品質管理を行うことで、ポーランドの造船技術は向上。その世界基準の技術の蓄積を元に、次々とポーランド発のボートブランドが誕生している。中でも、世界的なヨットデザイナーを起用し、ラインナップの拡大を続ける「PARKER Poland (パーカー)」は、今最も注目されるポーランドビルダーの一つだ。

今では、ポーランドを代表するボートビルダーとして認知されている PARKER Poland。もともとは1886年創設の歴史をもつイギリスの

AH PARKER & Sonsが、レジャーやフィッシングボートのビルダーとして1970年代初頭に建造を始めた比較的新しいボートビルダーだ。同じくAH PARKER & Sons傘下の別会社PARKER Rigid Inflatable Boats (PARKER Ribs)はそれ以前からRIBボートの建造を続けており、本国イギリスだけでなくヨーロッパ各国で、ミリタリーやコーストガード、レスキューやパイロットボートとして採用されてきた。そのRIB建造で培った堅牢で走破性に優れた技術を活かし、ポーランドで建造が始めたのがPARKER Poland。凌波性の高いシーワージネスやマニユールバビリティに加え、ラグジュアリーなエクステリアやインテリアが特徴のファミリークルーザーとして注目を集めている。

PARKERのデザインは、海洋王国イギリスの港湾都市サウサンプトンで活躍するヨットデザイナーのTony Castroのもの。PARKER以外では、フランスを代表するボートビルダー JEANNEAUや、革新的なデザインで成功を収めているポーランドビルダー GALEONなどプロダクションボートの他、ワンオフのカスタムボートやスーパーヨットのデザインを手がけている。

\*

ボンツーンに係留される「PARKER Monaco 110 (パーカー モナコ 110)」。2基のMERCURY Verado300が、38フィートのシルエットの中にすっきりと収められている。スターボード側に備えられた幅460mmのサイドドアを開けアフトデッキに乗り込む。トランサムに飛び出すアウトボードエンジンの左右に伸びる、スイミングプラットフォームから乗船することもできる。デッキから1段下がったスイムプラットフォームは左右とも幅850mmとワイドで、600mmの長さで後方に伸

び、スタンファースト時の乗下船もしやすい。アンカリング時の親水性はもちろん、海上でのエンジントラブル時には簡単に手が届き、整備しやすいことも大きなメリットだ。





リアドアは折戸タイプ。カウンター窓の上に跳ね上げることで、カウンター以外のスペース全てがオープン。解放感のあるキャビンとテラスのようなアフトデッキがワンフロアになる。アフトデッキを雨から守るイブスにはフィックスのクリアグラス。デッキやキャビンを明るく照らす。サイドゲートは広く、乗り降りしやすいだけでなく、大型魚のランディングもしやすい。



パワーレインのアウトボードエンジンは、メンテナンス性が高く、デッキ下のスペースを有効に使える反面、トランサムやアフトデッキの一部を犠牲にするレイアウト上のデメリットがある。だが、Tony Castro は、アウトボードのメリットを活かしつつ、デメリットをデザインとアイデアで補う。それが、2基のMERCURYを完全に覆うエンジンカバーだ。

エンジン2基を覆うカバーはベッドサイズの幅があり、フラットにした上部にクッションを敷き詰めればサンタンベッドとなるデザイン。1,970mm幅のワイドなデッキソファと一体の快適なエクステリアとなった。エンジンを下ろした状態で出来るだけ低く抑えられており、全体のスタイリングに溶け込む違和感のないデザインに仕上げられている。これ

までのアウトボードエンジンカバーは、そのままチルトアップも可能だが、見かけは大きく不恰好なデザイン。だが、PARKER Monaco 110のエンジンカバーは、「チルトアップ時にはサンタンベッドは使わない」と割り切ることによって完成したデザイン。チルトアップ時にはエンジンカバー全体がバウ側へスライドし、エンジン前方にスペースを確保。さらにカバー上部を斜めに持ち上げることで、エンジン上部のクリアランスを作り、チルトアップを可能にした。しかも、そのカバー上部は完全に開けることができ、大掛かりなメンテナンスやエンジン載せ替えも容易にすることができる。さらに、このサンタンベッドスペースは、ソファをアレンジすれば広げること



サイドスライドドアの開口部は950mm×470mm。コクピットからサイドデッキに、楽に素早く移動することができる。コクピットからサイドデッキに体を乗り出し目視でき、逆にサイドデッキからコクピットに手を伸ばし操船できるメリットもある。



バウ側から見ると、エンジンカバーではなく、ソファとサンタンベッドが設置されたサロングルーザーのトランサムにしか見えない。ソファの背もたれを利用し、サンタンベッドを広くするアイデアも機能的。バウデッキにもサンタンベッド。センターのクッションを外せば、バウキャビンのスカイハッチが現れる。

光浴やうたた寝をする大きなデイベッドとして使うことができるのだ。

\*

キャビンのリアドアは、ほぼ全開にできる折戸スタイル。ポートサイドに1,070mmの間口が確保された。スターボードサイドのリアウィンドウは跳ね上げタイプで、1,010mm幅のカウンターギャレーが現れる。アフトデッキを覆うイブスには、フィックスのクリアグラス。雨からアフトデッキを守りながら、カウンターギャレーにも光を取り入れている。

L字のギャレーにはWALLASの2口コンロとVITRIFRIGOのリフリ

ジェレーター。中央にはシンク。カランが上下し、収納も美しくデザインされている。対面するポートサイドは、フロアを1段高くしたL字のダイネット。立っている人の目線に合わせた高いアイポイント。着座した時にも視界が広く、海面を見渡すことができる。1,480mm×635mmのワイドなダイニングテーブルは、下ろしてクッションを敷けば、ベッドになる。

スターボードサイド前方には、ヘルムステーションとベンチシート。スタンディングに合わせたステアリングホイールを、フリップアップしたソ



ファで体を支え操作する。シッティングの時には、300mmの高さのフロアをセットできる。ヘルムのすぐ横には、サイドデッキと行き来ができるサイドスライドドア。フロアを高くすることで、移動もしやすい。そして、ヘルムシートの上部はグラストップ。メインサロンに光が降り注ぎ明るく開放的。このクリアガラスのサンルーフは電動で開閉し、キャビン内でもオープンエアを楽しむことができる。

PARKER Monaco 110はアコモデーションも充実。パウキャビンは、左右のサイドウィンドウと3つのスカイハッチが明るく開放的なマスターステートルーム。アイランドベッドの高さは840mmあり、ベッドの下

パウキャビンには、風景を楽しむことができる大きなサイドウィンドウ。パウデッキのクッションを外せば、3つのスカイライトハッチが現れ、パウキャビンをさらに明るく快適な空間にする。ポートサイドには、ダブルベッドのゲストキャビン。ツインベッドのような使い方もできる。



には大容量のロッカーが備わる。他にもクローゼットやハンギングロッカーなど収納スペースが充実し、ポートステイをサポートする。

さらにミジップのポートサイドには1,650mm幅のクイーンベッドのゲストキャビン。サイドウィンドウとオープンポート付きのグラストップとサイドウィンドウが、キャビンを明るく快適なベッドルームに仕上げています。スターボードサイドにはトイレとシャワーブースが分かれたヘッドコンパートメント。マスターキャビンとダイレクトでつながるドアが備わりプライバシーも守ってくれる。

\*

バウスラスターを使いイージーに離岸する。5～8m/sの北東の風が吹くラフな海面でのシートライアル。航路を出て、スロットルを倒していく。2,000rpmで9.6ノット。船外機の音や振動は、カバーが遮断。不快なノイズを感じないままスピードを上げていく。3,000rpmで13.6ノット。4,000rpmでクルージングスピードの27.9ノット。荒れる海面での計測、トップスピードは5,000rpmで38.1ノットを記録。波の中でもピッチングは少なく、波あたりもソフト。飛沫はチェーンで落とされデッキはドライ。フラットな海面でトリムの調整をすれば、まだスピードを上げることはできるだろう。

続いて、クルージングスピードでマニューバを描く。波を正面や横から受け旋回を試みる。フライブリッジのない低重心のバランス。インサイドに傾き、安定した姿勢を保ちターンをする。クイックなターンでも大きく傾くことはない。安定した姿勢を保ちながら、キールやチェーンが波に取られることなく船尾を少し滑らせながらターンの出口に向かう。低速時でもローリングが少なく、スタビリティが高いボトムデザイン。ラフな海面だからこそPARKER Monaco 110のシーワージネスを体感することができた。

\*

一見ファミリーボートに見えるアウトボードのクルージングボート。だが、PARKER Monaco 110の本当の姿は、「羊の皮を被った狼」。RIB



で培ったボトムデザインをベースに、マリレジャーを楽しむための遊び心のあるデザインやアイデアに満ちた仕掛けを満載。ファミリーの夢を膨らませる、魅力あふれるクルージングボート。それがPARKER Monaco 110なのだ。P.B.

#### PARKER Monaco 110

全長 11.7 m  
 全幅 3.65 m  
 喫水 0.50 m  
 重量 6.40 ton  
 エンジン 2×MERCURY Verado 300  
 最高出力 2×300 HP  
 燃料タンク 1,000 L  
 清水タンク 200 L  
 問い合わせ先 オカザキヨット  
 TEL: 西宮 0798-32-0202, 横浜 045-770-0502  
<https://okazaki.yachts.co.jp>



YouTube



YouTube

